

韓国（仁川・ソウル）視察



2024年3月21日～3月23日
大分ウォーターフロント研究会

仁川国際空港に隣接する 統合型リゾート（IR）施設パラダイス・シティ

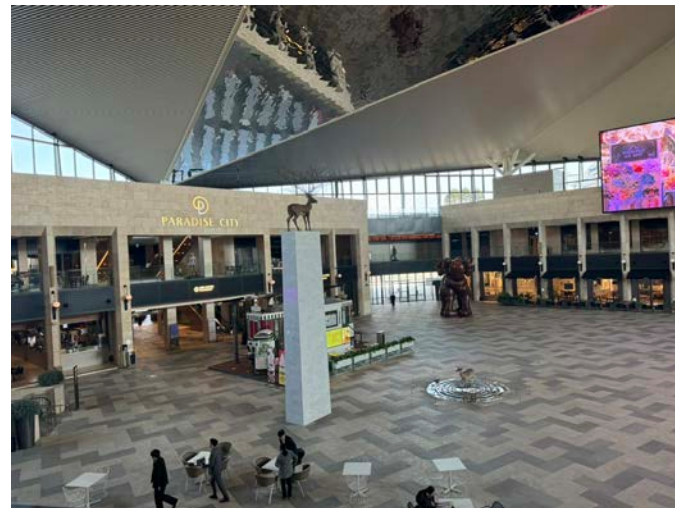
当研究会が令和3年の別府湾岸官民交流会議で議論したところ、大分空港の民営化については、従来の交通結節機能に加えて、観光拠点化が望まれることになりました。今回の視察では空港と観光産業とが共存する施設の視察を行いました。

韓国の仁川国際空港には、隣接地に2017年に開業した統合型リゾート（IR）施設パラダイス・シティがあります。

大分空港にはIRを導入することは難しいでしょうが、観光施設としては最も上位に位置する空港IRに興味を持ち視察しました。床面積33,000坪、ホテル711室、コンベンションセンター、カジノ、温浴施設、3,000人収容のクラブ、エンターテインメント施設ワンダーボックス、アートスペース、ショッピングモールなどを備える統合型リゾート（IR）施設、事業費1,370億円



ホテル全景（写真：パラダイスシティホームページより）

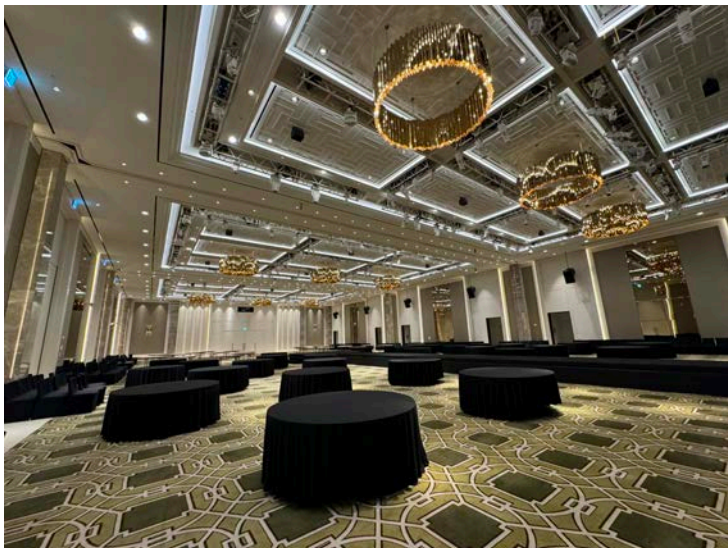


ショッピング・飲食モール プラザ



ダミアン・ハースト
Golden Legend

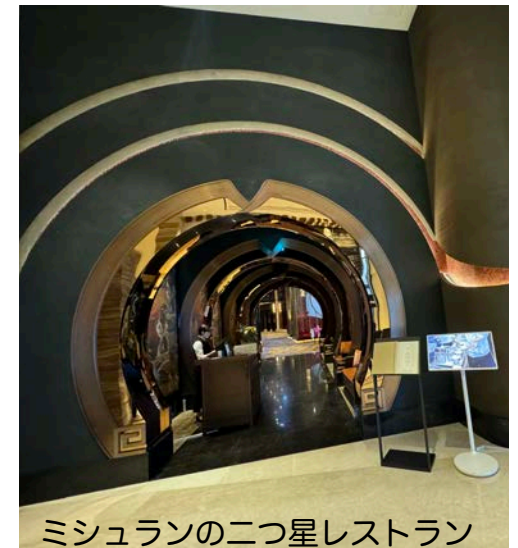
ホテルロビー



1,820人収容のグランドボールルーム



カジノ



ミシュランの二つ星レストラン
「インペリアル・トレジャー」 1

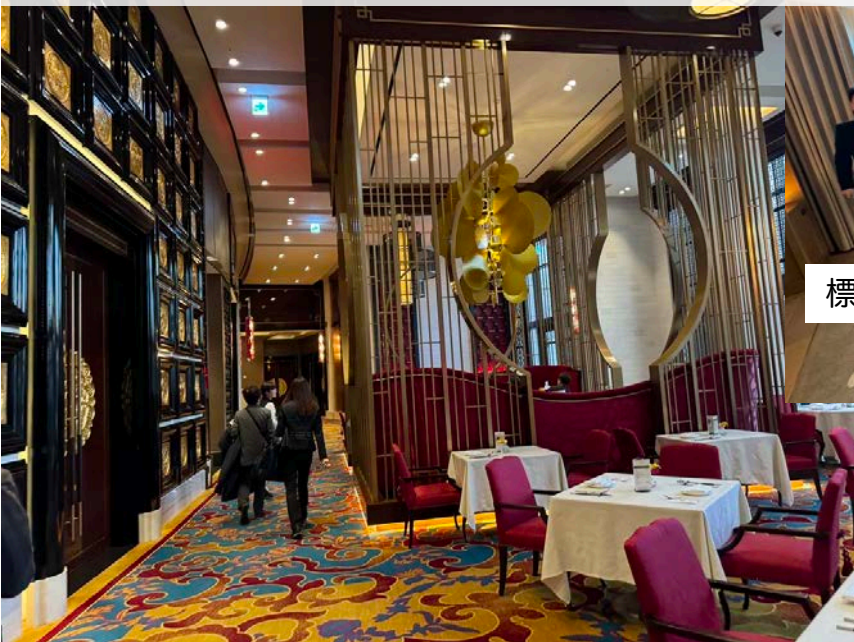
仁川国際空港に隣接する 統合型リゾート (IR) 施設パラダイス・シティ



3,000名収容の北東アジア最大規模のクラブ「クロマ」
ファミリー向けエンタテインメント施設「ワンダーボックス」



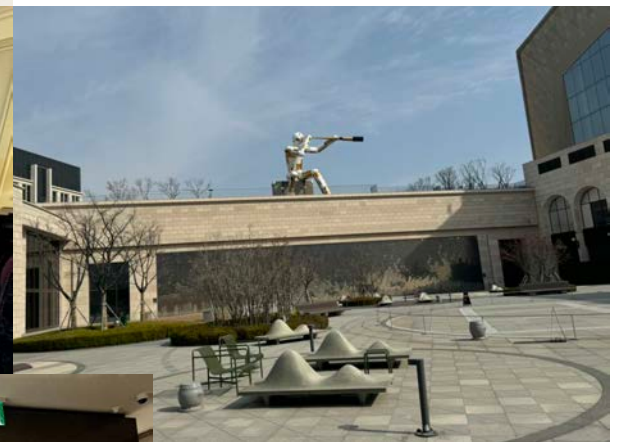
芸術の展示空間「パラダイスアートスペース」
残念ながら休館中



ミシュランの二つ星レストラン
「インペリアル・トレジャー」店内



標準的客室



アートガーデン



磁気浮上鉄道
リニアモーターカーは
運行が中止になっていました

3000点のアートを展示 統合型リゾート（IR）施設パラダイス・シティ



GREAT GIGANTIC PUMPKIN
草間彌生



C-CURVE
アニッシュ・カプーア



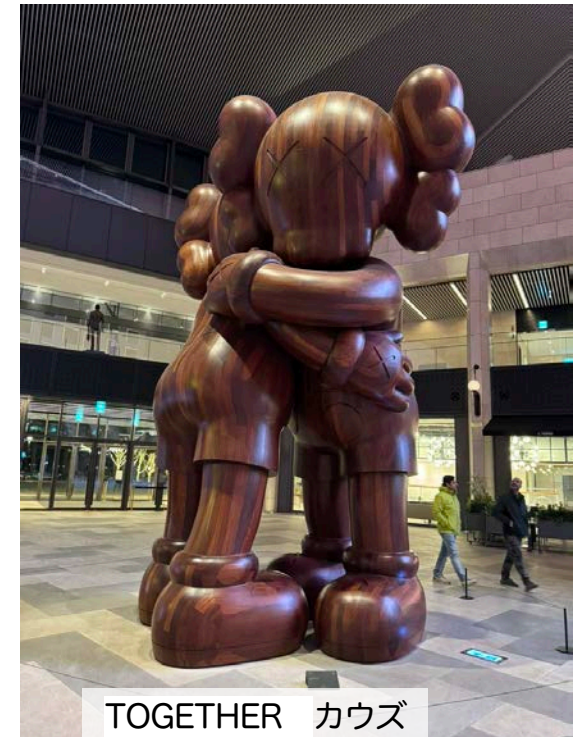
GAZING BALL-FARNESE HERCULES
ジェフ・クーンズ



PARADISE PROUST
アレッサンドロ・メンディーニ



PARADISE WALK ワンダー・メディアム



TOGETHER カウズ



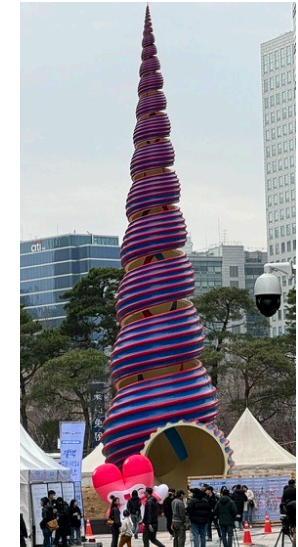
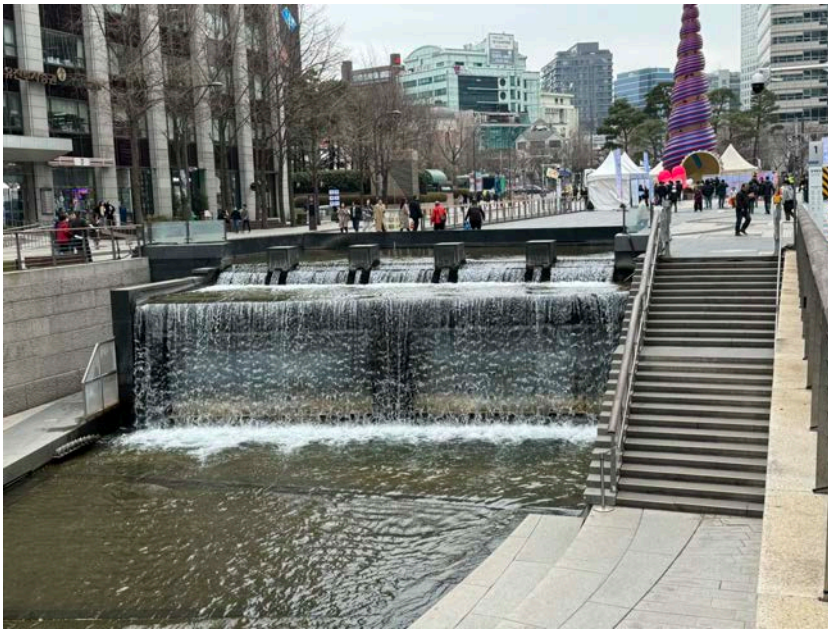
Golden Legend ダミアン・ハースト

ゴームリーのANOTHER TIME XX Iなども
あるのですが見に行けませんでした
一泊二日では時間がたりません

清溪川（チョンゲチョン）の復元

清溪川は朝鮮王朝時代の都市下水として利用、1900年頃から暗渠化されその上に道路が整備され、1960年代には一部が高速道路として建設された。清溪川は汚染され、メタンガスが発生し、臭気の問題どころか爆発まで起こり、車の排気ガスと共に環境問題に発展しました。

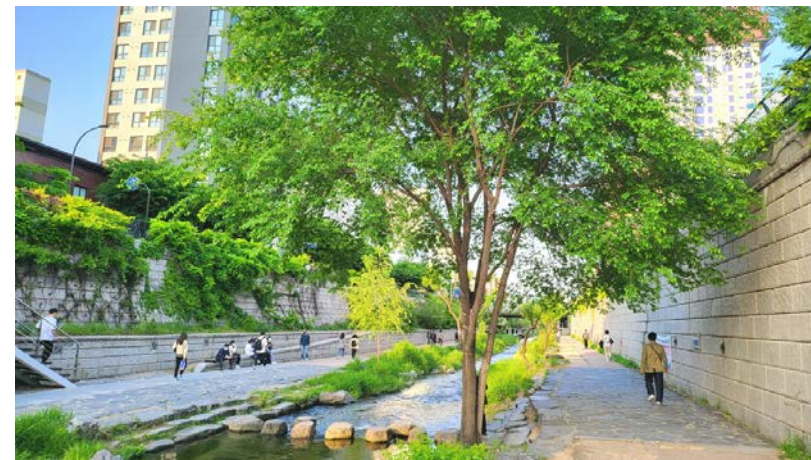
2002年、李明博（イ・ミョンバク）がソウル市長選で清溪川の復元を公約し当選。高速道路や覆蓋を撤去し、洪水や下水対策を実施し、周囲の道路、歩道、橋を整備して、2005年には6kmの親水可能な河川として蘇りました。大分でも大分川宗麟大橋付近で計画のある「大分まちかわづくり」に期待したいです。



清溪広場は清溪川散歩のスタート地点
クレス・オルデンバーグのポップなアート作品「スプリング」



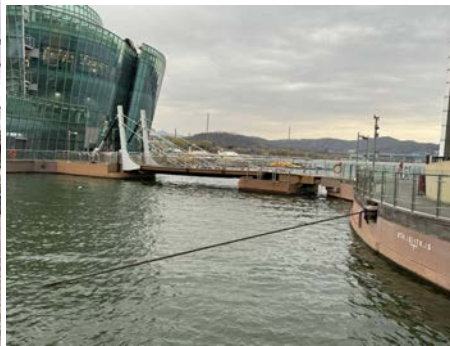
写真：ウィキペディアより



写真：ソウル観光財団ホームページより

3つの人口島 セビッソム

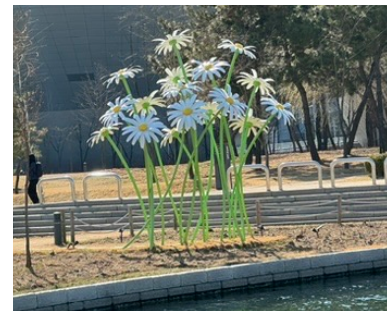
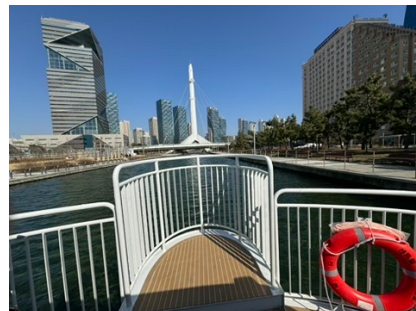
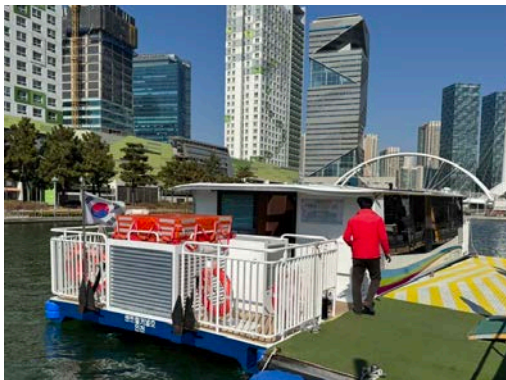
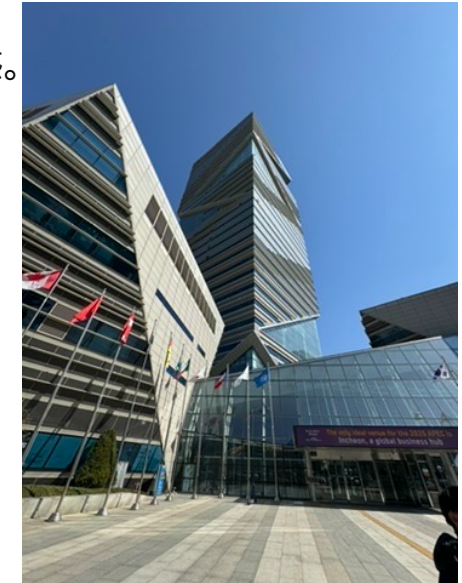
漢江（ハンガン）の人工島が「セビッソム」（3つの光り輝く島）
島と言っても川面から浮かせた浮体上に建てられたフローティング形態で、岸に係留された水上の複合文化空間です。



大分川でフローティング形式の施設は、台風や大雨の被害が激化しており、実現が難しいかもしれません
かんたん港園の穏やかな港湾に浮かべた施設整備ができれば西大分の賑わいづくりにも良いかもしれません

仁川市の松島（ソンド）セントラルパーク

松島は多くの島々を埋め立てて造成されており、仁川国際空港から車で15分の距離で、国際業務のハブを目指しています。セントラルパークは、多くの高層ビルが立ち並ぶ未来都市に緑と安らぎをもたらす都市公園で海水を引き込んで作られた湖の水路では、環境に配慮した電気式の水上船が運行しています。松島セントラルパーク沿いのマンションの分譲価格は9億ウォン（約1億円）韓国の経済成長を実感。

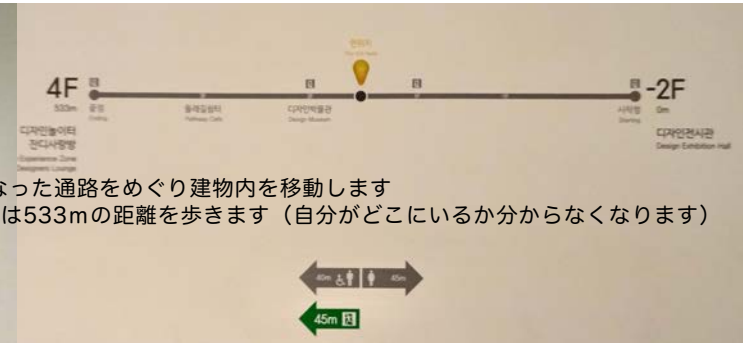


ソウル ユネスコの創造都市ネットワーク「デザイン」登録

ソウル市のデザイン戦略が気になります。ソウル市文化観光デザイン本部がデザイン政策を策定しています。ソウル市はユネスコの創造都市ネットワークのデザイン分野に2010年に登録され、翌年2011年にユネスコ創造都市ネットワークの年次総会を開催したことで、ソウルが世界に発信されました。その結果、アジアでは東京に匹敵する観光都市として発展。2014年には、世界的な建築家ザハ・ハディドの設計で東大門（トンデムン）に東大門デザイン・プラザ（DDP）が完成してソウルのデザイン都市を象徴するランドマークとなっています。N.Y.タイムズ「2015年にぜひ行くべき世界の名所52選」に選定デザイン都市ソウルの象徴としてのDDPは10年を経てソウルの都市と共にデザイン性と価値を高めて成長しています。



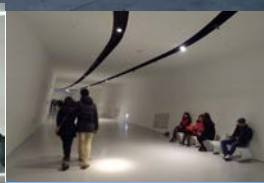
無窓のスロープになった通路をめぐり建物内を移動します
地下2Fから4Fまでは533mの距離を歩きます（自分がどこにいるか分からなくなります）



東大門（トンデムン）デザイン・プラザ（DDP）

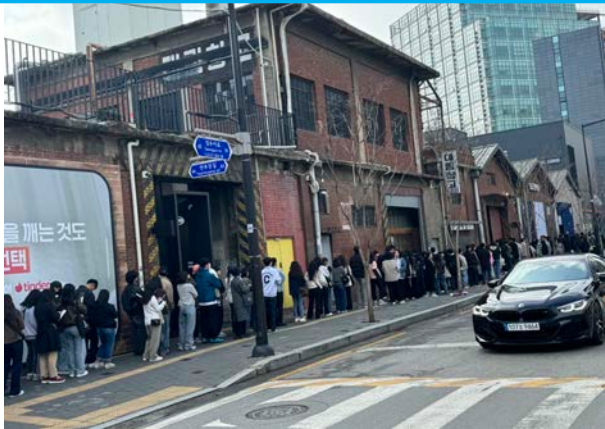
2024年、現在もかわらず人気がありました
ddp design storeなど以前より充実しています
DDPに行くと心が浮き立つのはザハ・ハディドの
アートの力により創造性を高めているようです

写真は2014年、完成したばかりのDDPにWF研究会で
視察した時の写真も使っています



写真：ソウル観光財団ホームページより

聖水（ソンス）洞のカフェ通り、ピョルマダン図書館 ソウル ユネスコの創造都市ネットワーク「デザイン」登録



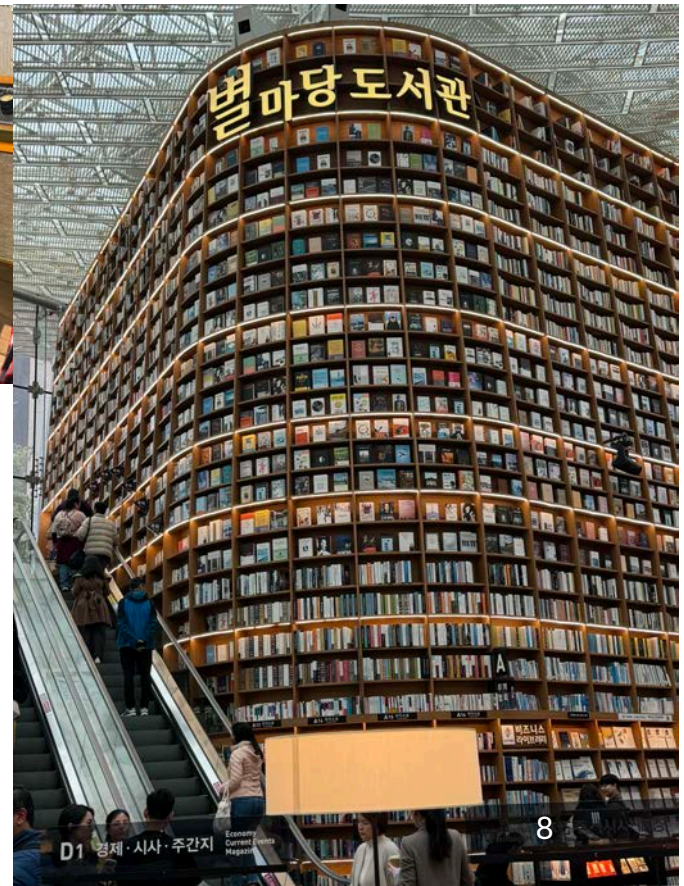
聖水洞大林倉庫 ギャラリー CO:LUMNは大人気



聖水洞 多くの人たちで賑わう



リノベーションしたカフェ



ピョルマダン図書館



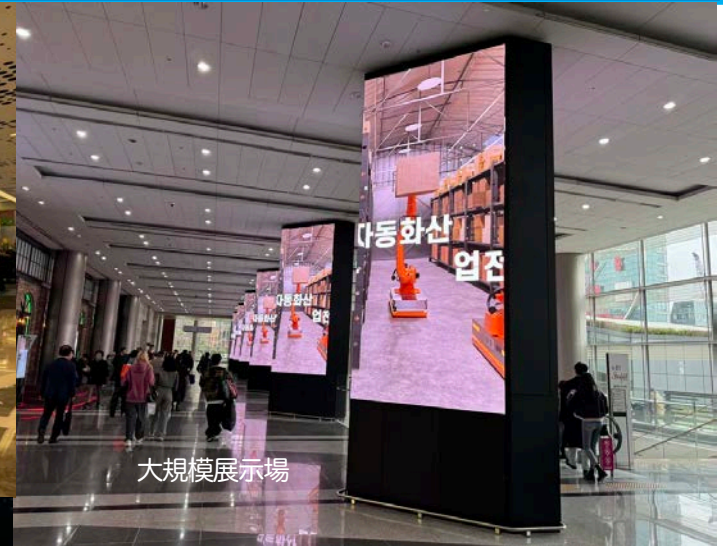
韓国では大型画面使ったデジタルサイネージがすごい



空港歩く歩道の壁面



ショッピングセンター



大規模展示場



パラダイスシティ



ロッテワールドタワー高層エレベーター内部



ロッテ免税店



ロッテワールドタワー解説

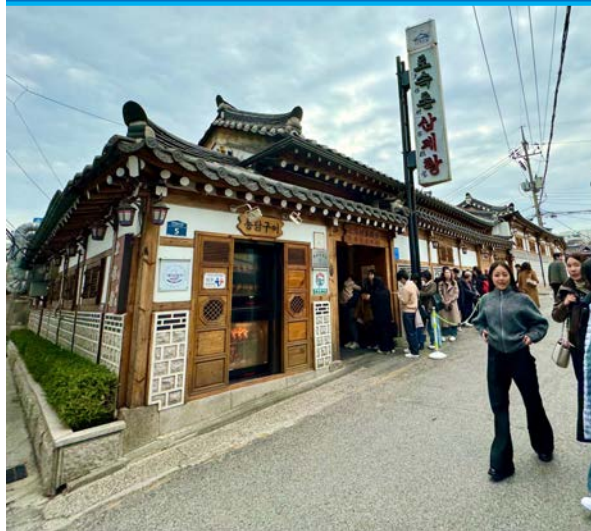


パラダイスシティ
AIで観光案内

食事を楽しむ 広東料理 Imperial Treasure ミシュラン2つ星



食事を楽しむ 土俗村参鶏湯 (トソッチョム・サムゲタン)



食事を楽しむ 宮廷料理 石坡廊(ソッパラン)



食事を楽しむ 三元（サムウォン）ガーデン プルコギ





三元ガーデン



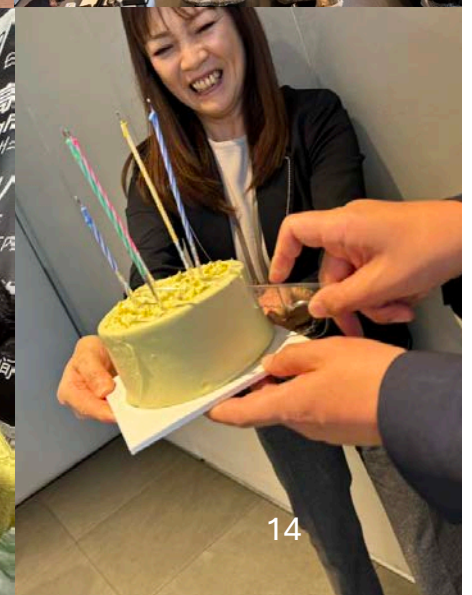
久能木さん誕生日



仁川国際空港



福岡空港解散式





롯데월드타워-555m



120F
SKY TERRACE
486M





仁川松原セントラルパーク



セビッソム



東大門デザイン・プラザ



コエックスモール



仁川松原セントラルパーク



パラダイスシティ インペリアル・トレジャー

2024年 仁川・ソウル視察報告書

大分ウォーターフロント研究会
尾野 文俊

大分ウォーターフロント研究会は、2024年3月21日から3月23日に韓国の仁川とソウルを視察しました。今回の視察目的は、仁川国際空港に併設された統合型リゾート（IR）施設パラダイス・シティの視察と、ソウルでの河川のウォーターフロント活用に焦点を当てました。

大分では、大分空港のコンセッション、民営化に関する検討が始まりそうです。当研究会が令和3年の別府湾岸官民交流会議で議論したところ、大分空港の民営化については、従来の交通結節機能に加えて、観光拠点化が望まれることになりました。国内の空港も民営化が進み、航空機利用以外の集客を目指した空港施設が増加しています。アジアでも空港の整備が進んでいますが、韓国の仁川国際空港には、隣接地に2017年に開業した統合型リゾート（IR）施設パラダイス・シティがあります。大分空港にはIRを導入することは難しいでしょうが、観光施設としては最も上位に位置する空港IRに興味を持ち、視察しました。

概要は、日本の総合娯楽メーカーであるセガサミーホールディングスと、韓国でホテルやカジノを運営するパラダイスグループとの合併会社が総事業費1,370億円で建設・運営しています。パラダイス・シティの構成は、床面積約33,000坪で、全711室のパラダイスホテル&リゾート、デザイナーズホテル「アートパラディソ」、1,820人収容のグランドボールルームをメインとしたコンベンションセンター、韓国式チムジルバンとヨーロッパ式スパを融合させた高級温浴施設「シメル」、3,000名収容の北東アジア最大規模のクラブ「クロマ」、芸術の展示空間「パラダイス・アート・スペース」、パラダイスシティの象徴となる特徴的な屋根を有する施設の飲食／ショッピングモール「プラザ」、映画やドラマの撮影に使われている最先端撮影スタジオ「スタジオパラダイス」、屋内型ファミリー向けエンタテインメント施設「ワンダーボックス」などが主な施設です。

パラダイス・シティの特徴として、敷地内に約3,000点ものアート作品が散りばめられています。私が見かけた主な作品を紹介すると、ホテル入り口にはダミアン・ハーストの「Golden Legend」があります。翼を持った馬という神秘的な動物の像は7億円するとのこと。ホテルの各棟をつなぐ中心の場所には草間彌生の「Great Gigantic Pumpkin」が展示されており、2m60cmの大きな黄色いカボチャは多くの人が写真撮影をしているインスタ映えする場所となっていました。別府公園に展示されていた「SKY MIRROR」で大分ではおなじみのアニッシュ・カプーアの「C-CURVE」があります。このステンレス作品は天地が逆に写る面白い効果も楽しいです。その他、ジェフ・クーンツの「Gazing Ball (Farnese Hercules)」があります。ヘラクレス像にガラス玉が今にも落ちてきそうになっていて風景が反射して見えますが、玉が落ちてきそうなのが気になる風変わりな作品です。この作品は現在、アメリカで最も高額なアーティストのジェフ・クーンツによるものです。まだまだ気がついた作品がありますが、ここでは全てを紹介することはできません。3,000点もの作品群を1泊2日では全て鑑賞することはできません。美術館に匹敵するコレクションです。アート好きな方には鑑賞のためだけに訪れる価値がありそうです。美術の企画展を行うパラダイス・アート・スペースもありますが、視察時はちょうど作品の入れ替えを行っていたため休館でした。統合型リゾートの特徴として、社会への貢献が重視されますが、パラダイス・シティでは文化芸術分野にフォーカスしており、文化芸術振興のためのパラダイス文化財団を運営するほか、障害者向けのパラダイス福祉財団も設立しています。

飲食に関しても、ミシュラン二つ星を持つ中華料理の「インペリアル・トレジャー」を筆頭に、韓国料理や日本料理など幅広く楽しめるレストランがたくさんありました。アトラクションやイベントが盛りだくさんの、ファミリーテーマパークのワンダーボックスも魅力的で、家族でも楽しむことができます。このパラダイス・シティは、カジノやコンベンションセンターは別としても、施設内で朝から夜まで数日間滞在できる魅力ある施設がたくさんあります。大分空港もパラダイス・シティを参考にして、規模は小さくても特徴的な魅力ある滞在型観光施設を整備すれば、観光拠点化できると感じました。まして、大分空港の立地する国東半島は自然景観やパブリックアートもあり、魅力が倍増すると思います。

ソウルの河川のウォーターフロントに関しては以前も視察した清溪川（チョンゲチョン）へ行きましたが、イベントや河川散策に訪れる人々の多さに驚きました。そもそも、清溪川は朝鮮王朝時代の都市下水として利用されていましたが、ソウルへの人口集中に伴い周辺の山林の伐採が進み、山が荒廃していきました。その結果、清溪川は大雨が降ると氾濫が起き、1900年頃から暗渠化されその上に道路が整備され、1960年代には一部が高速道路として建設されました。まるで東京の首都高速道路のようですね。ところが、清溪川は汚染され、メタンガスが発生し、臭気の問題どころか爆発まで起こり、車の排気ガスと共に環境問題に発展しました。

2002年、後に大統領となる李明博（イ・ミョンバク）がソウル市長選で清溪川の復元を公約し、当選しました。彼は高速道路や覆蓋を撤去し、洪水や下水対策を実施し、周囲の道路、歩道、橋を整備しました。その結果、2005年には親水可能な河川として蘇りました。復元された清溪川は約6キロにわたり、歴史・文化・遊び・教育・自然・生態をテーマにブロック分けされ、それぞれにふさわしいモニュメントなどが用意されています。清溪川の美化には多くの市民ボランティアが参加しており地元住民から愛されています。大分でも大分川宗麟大橋付近で計画のある「大分まちかわづくり」に期待したいです。

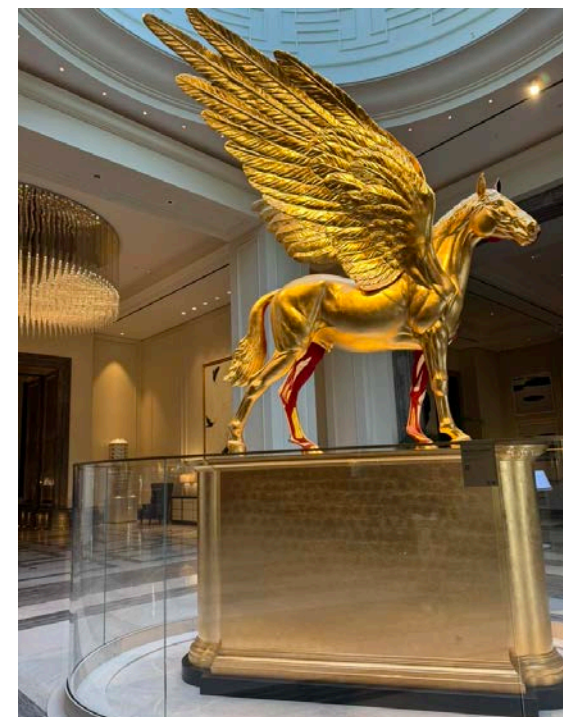
漢江（ハンガン）で人気の噴水ショーがある橋「盤浦大橋（パンポテギョ）」のすぐ横にある人工島が「セビッソム」です。セビッは『3つの光』、ソムは『島』という意味で、「3つの光り輝く島」という名前になります。島と言っても川面から浮かせた浮体上に建てられたフローティング形態で、岸に係留された水上の複合文化空間です。島は大きさの順に「カビッソム（gavit some）」「チェビッソム（chavit some）」「ソルビッソム（solvit some）」と呼ばれており、2014年10月のオープン以来、レストランやカフェ、展望台などが備えられたカルチャー空間として運営されています。特に、「カビッソム」の2階にあるコンベンションセンターでは、ファンミーティングやサイン会などが頻繁に開催され、韓流ファンの間で話題になっているようです。大分でも大分川でフローティング形式の施設を思い描きましたが、地球温暖化により台風や大雨の被害が激化しており、実現が難しいかもしれません。むしろ、かんたん港園の穏やかな港湾に浮かべた施設整備は良いかもしれません。

仁川市の松島（ソンド）セントラルパークにも行ってきました。多くの島々を埋め立てて造成されたこの場所は、仁川国際空港から車で15分の距離に位置し、国際業務のハブとしての地位を目指しています。仁川市が経済自由地区に指定した松島（ソンド）国際都市の中心に位置するセントラルパークは、高層ビルが立ち並ぶ未来都市に緑と安らぎをもたらす都市公園です。多くの高層ビルが建ち並び、海水を引き込んで作られた湖の水路では、環境に配慮した電気式の水タクシーが運行しています。また、この地はドラマや映画のロケ地としても知られています。水路沿いには様々なパブリックアートが展示されており、松島セントラルパーク沿いのマンションの分譲価格は9億ウォン（約1億円）だそうです。韓国の経済成長を実感することができる場所でした。

私は今回の視察についてウォーターフロント以外で気がかりだったことがありました。ソウル市のデザイン戦略についてです。ソウル市はユネスコの創造都市ネットワークのデザイン分野に2010年に登録されています。そして翌年2011年にユネスコ創造都市ネットワークの年次総会を開催したことで、ソウルが世界に発信されました。その結果、Kポップや映画、TVドラマなどの文化面で成長し、アジアでは東京に匹敵する観光都市として発展しています。ソウル市文化観光デザイン本部がデザイン政策を策定しています。2014年には、世界的な建築家ザハ・ハジドの設計で東大門（トンデムン）に東大門デザイン・プラザ（DDP）が完成しています。そのUFOが地面に突き刺さったような独特の建築はソウルのデザイン都市を象徴するランドマークとなっています。現地ガイドによれば、コロナ禍で周辺の観光地は人出が減少しましたが、このDDPは人気があり影響は少なかったようです。我々も本来は車窓からの見学だけの予定でしたが、つつい立ち寄り、急いで見学しました。（前回2014年、完成直後に視察しています）竣工してちょうど10年になりますが施設の利用状況を見るとddp design storeやファッションなどデザイン性の高い商品などのショップが以前より充実していました。デザイン都市ソウルの象徴としてのDDPは10年を経てソウルの都市と共にデザイン性と価値を高めて成長しています。来年2025年大分では大分県立美術館OPAMが10年目を迎えます。DDPの成長を見て、地域の創造性を高めることを標榜する大分はOPAMと共に成長できているか検証し、更なる成長につなげていく必要性を感じました。

聖水（ソンス）洞のカフェ通りもお洒落なカフェが大人気となっていて、デザインを使った成功事例を見ることができました。ソウルはユネスコの世界遺産の認定を受けていますが、創造都市ネットワークで新しくデザインを使って都市の魅力づくりや産業振興が実現していることに驚きました。白杵市もユネスコの創造都市ネットワークの食分野で登録されています。いずれソウルのように白杵市と大分県とでユネスコの年次総会を誘致して大分の魅力を高め世界に広く認知してもらいたいと思います。

このように空港周辺施設の活性化や河川のウォーターフロント開発、都市のデザイン戦略を視察できました。この視察内容をこれからの別府湾岸の活性化に役立てていきたいと思っています。



旅の
しおり

大分ウォーターフロント研究会 仁川ソウル視察

2024年3月21日(木)～3月23日(土)【3日間】

株式会社JTB 大分支店

※写真はイメージです。

株式会社JTB 大分支店

〒870-0026 大分県大分市金池町1-1-17
JTBビル2階

TEL:097-534-7151

FAX:097-534-9197

総合旅行業務取扱管理者:倉富 哲
担当:安部 弥恵(080-9245-5308)

感動のそばに、いつも。

日程表〈1日目/3月21日(木)〉

地 名	現地時刻	交通機関	摘 要・宿泊地
大 分	06:30	専用バス	大分発、途中休憩1～2回 専用バスにて福岡空港国際線ターミナルへ
福 岡 空 港	09:00		福岡空港着、搭乗手続き
福岡空港発	11:30	OZ131	空路：ソウル(仁川)へ(所要時間：約1時間20分)
仁 川 着	12:50		着後、入国審査へ
仁 川	14:00	専用車	専用車にて、仁川市内視察へ ●仁川松島セントラルパーク(水上タクシー乗船) ●トライボール ●G-Tower (IFEZ/仁川経済自由区域担当官による説明)
	15:00		
	16:00		Paradise City施設内視察(担当者による案内、概要説明) ●シメール ●ワンダーボックス ●プラザ ●アートスペース ●パラダイスカジノ ●クロマ ●Play Labなど
	17:00		ホテルチェックイン
	18:00		ご夕食(ホテル内Imperial Treasureにて)
	20:00		ご夕食後はホテル内にてお楽しみください。 (仁川泊)


PARADISE CITY
 パラダイス シティ
 [住所] 186, YEONGJONGHAEANNAM-RO 321-GIL, JUNG-GU, INCHEON, KOREA
 [TEL] +82 1833-8855 [FAX] +82 32-729-2100

★MEMO★ * お部屋番号 号室(添乗員 号室)

・朝 食(一)各自

・昼 食(機 内)

・夕 食(○)ホテル1階「Imperial Treasure」にて 18:00～

OZ：アジアナ航空

日程表〈2日目/3月22日(金)〉

地 名	現地時刻	交通機関	摘 要・宿泊地
			ご朝食後、チェックアウトまで自由行動 ホテル内にて、各施設見学等お楽しみください
仁 川	11:15	専用車	専用車にて、ソウル方面へ
ソ ウ ル	12:45		ソウル着後、市内にてご昼食(サムゲタン)
	13:30		午後、ソウル市内視察 ●清溪川(チョンゲチョン) ●COEX(大型商業施設、ピョルマダン図書館、水族館など) (一部自由行動時間を含みます) ●セビッソム(施設見学) など
	18:00	専用車	ご夕食：韓国伝統宮廷料理「ソッパラン」へご案内
	20:00		明洞または光化門前散策立ち寄り、ホテルへ
	21:30		ホテル着 (ソウル泊)


HOTEL GRACERY SEOUL
 ホテル グレイスリー ソウル
 [住所] 04526 SEOUL 12, SEJONG-DAERO 12-GIL, JUNG-GU
 [TEL] +82-2-6936-0100 [FAX] +82-2-6936-0101

★MEMO★

・朝 食(○)ホテル1階「ON THE PLATE」にて各自 6:30～10:30

・昼 食(○)サムゲタン

・夕 食(○)「ソッパラン石坡廊」にてコース料理

日程表〈3日目/3月23日(土)〉

地 名	現地時刻	交通機関	摘 要・宿泊地
ソ ウ ル	09:00	専用車	ご朝食 ホテル (またはオプションで界隈のローカル店ご紹介) 朝食後、チェックアウト
	13:15 14:15		昼食:著名人の集う高級焼肉店「三元ガーデン」へご案内 食事後、専用車にて、仁川空港へ
	15:45		空港着、搭乗手続き
仁 川 発	18:15	OZ136	空路:帰国の途へ(所要時間:1時間20分)
福岡空港着	19:35		福岡空港着後、入国手続き
福岡空港発	20:30	専用バス	専用バスにて、大分駅まで(途中休憩1～2回)
大 分 着	23:00		大分駅着 ～お疲れ様でした～

★MEMO★

- ・朝 食(○) ホテル11F「ボンサルーテ」にて7:30～10:00または
ローカル朝食「ソルロンタン」7:20ロビー集合
- ・昼 食(○)「三元ガーデン」にてブルコギ
- ・夕 食(機 内)

ご参加者名簿

(順不同)

No.	勤 務 先	名 前
1	株式会社大分銀行	佐藤 泰則 様
2	鬼塚電気工事株式会社	尾野 文俊 様
3	株式会社マイダスコミュニケーション	福田 健二 様
4	株式会社マリーンパレス	橋本 均 様
5	東九州設計工務株式会社	仲摩 諭 様
6	株式会社日本政策投資銀行大分事務所	佐野 真紀子 様
7	府内産業株式会社	上金 靖幸 様
8	第一交通産業株式会社	宮田 大誠 様
9	MIHOクリーニング	小原 美穂 様
10	株式会社リープス	小原 一基 様
11	株式会社佐伯建設	川崎 敬太 様
12	株式会社デンザイ東亜	久能木 秀和 様
13	株式会社JT B 大分支店	廣原 武史 様
視察企画	株式会社JT B 大分支店	安部 弥恵 様

(欠席)

添乗員 株式会社J&Jヒューマンソリューションズ 英 美保